

岡山フルートの会会報

2009年2月号 第120号

HP: <http://www.okayama-flute.net/>E-mail: okayama-flute@mail.goo.ne.jp

暦の上では春とは申しまして、寒さ厳しい毎日ですね。風邪やインフルエンザの流行る時期です。健康には十分気をつけて、元気に頑張りましょう！

“メヌエット”のソリスト決定！（第30回岡山フルートの会演奏会）

アヴァンテで演奏する「アルルの女」の“メヌエット”を吹くソリストについて、1月25日にオーディションを行いました。その結果、大塚美紀さんと柴田 聡さん（50音順）のお二人が担当することになりました。ますますアヴァンテの練習に熱が入るものと期待が膨らみます。

お弁当について

演奏会当日お昼のお弁当の申し込みを受け付けています。当日は、朝からリハーサル→14時本番となりますので、申し込んでいただくか、又は各自でご用意ください。

弁当係：高木さん（ジュニアのみ参加の方は熊瀬さんにお申し込みください）

お弁当（お茶付き）………1人分 600円

星っさんコーナー（その39）

「思い出の人」その一（むかしむかしのお話です）

星島明郎

「大栗裕」——吹奏楽ファンなら誰でも良く知っている名前でしょう。1966年、私が県立岡山東商業高校の教諭として吹奏楽を指導していた年、全日本コンクールの課題曲として採用された「吹奏楽のための小狂詩曲」を作曲した人です。その他にも吹奏楽のための曲を沢山書かれていますね。「吹奏楽のための神話」「仮面幻想」「大阪のわらべ歌による狂詩曲」などの吹奏楽作品は今でも非常に人気が高く、各地のコンクールや演奏会で盛んに演奏されています。「大阪俗謡による幻想曲」のオーケストラバージョンは故朝比奈隆先生（大阪フィル常任指揮者）の客演指揮でベルリンフィルでも演奏されて好評を博したそうです。又、「ヴァイオリン協奏曲」「オーボエとオーケストラのためのバラード」「弦楽器のための二章」など優れたクラシック作品が多数ありますが、彼の代表作は、やはり関西歌劇団のために書き下ろされた歌劇「赤い陣羽織」ではないでしょうか。私も何度かオーケストラボックスから舞台を見上げながら吹かせてもらいました。しかし、彼がホルンの名手であったことを知っている人は少ないの

ではないかと思います。実は私、関西交響楽団(現・大阪フィル)でフルートを吹いていましたが、その当時、彼はホルンの主席(ソリスト)として、又それ以上に管楽器群のまとめ役として、さらに朝比奈親方(オヤカタ・・・団員は皆そう呼んでいた)の片腕として楽団全体をまとめる重要なポストの人でした。楽団員に対する面倒見も良くて、当時楽団で最も若かった私に対しても「給料日の前で不自由だったら何時でも言って来い。貸してやるよ」などと話しかけてくださり、とても可愛がってもらいました。又、アルバイトの世話もいろいろとして頂きましたが、中でも松竹歌劇団に顔の利く大栗さんは、「春のおどり」の作曲を担当されていて、腰ぎんちゃくのように連れて行かれてはフルートソロを吹かせて頂きました。若き日の楽しい思い出です。親分肌のところがありましたがとても心優しい方で、大変頼もしく思っていました。

大栗さんについての思い出の一つに、彼の珍しい行動があります。それはハーモニカによる作曲です。私は、彼がハーモニカを吹きながら作曲している場面に何度も同席しました。頭の中にある音楽を実際に音に出して確認していたのでしょう。ハーモニカ演奏もなかなか上手でした。又、嘗て私が県吹連の理事長をしていたとき、吹奏楽コンクールの審査員をお願いした事がありましたが、快く引き受けてくださり、審査の後で的確な批評やご自分の作品に対する情熱溢れるお話を伺うことが出来ました。1982年に64歳という若さでお亡くなりになったのが残念でなりません。どうぞ先生、いつまでも私たちを天国から見守っててください。

演奏会情報

♪ 岡山チェンバレープレイヤー - ズ 第37回コンサート ピアノトリオ「リシオ」

日時:2月21日(土)14時30分開演

会場:ルネスホール

入場料:1,000円(ソフトドリンク付き)

曲目:交響組曲シェヘラザードよりノハイドン三重奏曲ト長調ノダットン人の踊り 他

フルートの会会員の藤澤桂子さんが出演されます。

♪ 演奏会情報は熊瀬さんに連絡してください ♪ kumakuma-family@nifty.com

【会報の封筒詰めのお知らせ】

3月号の会報の封筒詰めを、3月3日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。
会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。